

# 施策評価シート（令和元年度実績）

## 施策名 施策2 希望する子育てができる環境をつくる

施策コード 010002

1. 施策の体系と担当課		
第5次総合計画	将来像	将来像1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち
主管課	健康子ども部 子育て支援課	
関係課	健康子ども部 保育こども園課	

2. 施策の目標	
10年後の目標	
<p>家庭の状況に応じ、希望する幼児教育・保育、子育て支援のサービスを選択することができ、子育てと仕事の両立や、子どもが健やかに成長できる環境、親が子育てを楽しめる環境が整っています。 市民の力を活用した地域ぐるみの子育てが進み、さらにきめ細やかな子育て支援ができる体制となっています。</p>	
10年後の目標に向かった主な取組み	
市の取組み	
<p>○保育所及び学童保育に係る年度途中も含めた待機児童の解消と、教育・保育の連携を確保するため、ニーズに応じた受け入れ体制の整備を図るとともに、公立保育所の認定こども園化、地域に根ざした教育・保育施設づくりを行います。 ○働く家庭などの多様なニーズに対応する保育サービスの充実を図るとともに、市ホームページやリーフレット等により保育サービスについての詳細な情報を提供します。 ○各保育所等で園庭開放、保育所体験教室などを開催し、地域の子育て世帯への支援と通所児童との交流を図ります。 ○育児に優しい企業の認定や、男性向け育児講座の開催などを通じ、女性がいきいきと働きながら子育てができる環境を整備します。 ○親世帯との三世帯同居・近居を促進し、子育て負担の軽減を図ります。 ○新たな教育課題に対応できるよう、教育・保育施設と小学校・中学校との連携を推進し、課題解決に共同で取り組む機会を設け、教職員の資質向上を図ります。 ○障害児加配講師・保育士を継続して配置するとともに、公立幼稚園において3歳児保育と一時預かり保育を実施します。 ○一時預かり事業所利用券の給付や、オムツ替えや授乳ができるスペース「赤ちゃんの駅」の設置を進めるなど、子育て中の女性の外出支援に取り組みます。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○家庭や地域・企業が連携し、子育てについて地域全体で支え合う体制づくりを推進します。 ○子育て関連講座の開催やサークル活動を通じて、幼稚園や保育所、学童保育の子どもたちが地域社会とふれあうことで、感性豊かな人格を形成していきます。 ○子育てサークルやNPOの活動によって、子育て支援を推進します。 ○事業所は、乳児を子育て中の保護者が気軽に外出できるよう、オムツ替えや授乳ができるスペース「赤ちゃんの駅」の設置に努めます。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
<p>幼児教育・保育の質・量の充実のほか、保護者の働き方や地域ニーズに応じた保育の提供体制の一層の充実が求められている。また、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育・保育の重要性や幼児教育・保育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから、令和元年10月から『幼児教育・保育の無償化』が実施されている。</p>	
新たな市民ニーズ	
<p>保育所や幼稚園、認定こども園の保育機能の専門性を生かし地域に開かれた施設として、子育て家庭の多様なニーズに対応できるサービスの充実、就労だけでなく社会貢献活動への参加などと、子育ての両立ができるような多様な子育て支援サービスの整備や充実が求められている。また、生まれ育った環境に左右されないことのないよう、子どもの貧困解消に向けた取組みの必要性が求められている。</p>	

4. 施策にかかるコスト			単位	H30予算	H30決算	R元予算	R元決算	R2予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		79.0		78.99	
		嘱託員数			79.0		79.0	
	人件費	直接人件費			752,684		977,997	
		間接人件費			21,842		17,776	
	直接事業費	千円	3,065,255	3,065,009	3,127,351	3,389,461	3,311,770	
	間接事業費			2,622		4,669		
フルコスト		3,065,255	3,842,157	3,127,351	4,389,903	3,311,770		
財源内訳	使用料及び手数料	千円	56,049	52,265	53,093	53,250	47,053	
	国庫支出金		1,017,591	1,101,719	1,051,210	1,230,607	1,352,803	
	府支出金		607,201	611,833	606,344	684,770	732,785	
	市債		139,400	155,300	248,100	163,500	68,400	
	その他		180,856	132,307	182,414	160,049	93,975	
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		1,064,158	1,788,733	986,190	2,097,727	1,016,754	
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		1,064,158	1,011,585	986,190	1,097,285	1,016,754	

備考
----

5. 施策の成果指標							
成果指標1		保育所等入所待機児童数（年度当初）					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人	毎年度	0	維持	0	0	0	0
成果指標2		教育・保育施設入所率					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
%	毎年度	100	増加	97.7	98.1	100	100
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和元年度実績）									
事務事業名	最重要指標	事業費 人件費				方向性	所見		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込)				
		幼児教室運営事業 (子支)	児童発達支援延べ利用者数 R元実績 2,711 人 最終目標値に対する達成率 -	1,293	1,024			1,110	1,079
保育所等支援事業 (子支)	民間保育所延べ入所者人数 R元実績 25,815 人 最終目標値に対する達成率 122.9%	2,361,226	2,198,384	2,381,748	2,611,885	成果 B:現状維持	業務の軽減方を検討する必要がある。		
すくすく子ども館運営事業 (子支)	支援センター利用者延べ人数 R元実績 12,748 人 最終目標値に対する達成率 70.8%	11,233	9,017	8,683	16,696	成果 B:現状維持		市内3カ所の地域子育て支援拠点での健全な運営を実施する。	
障害児通所支援事業 (子支)	R元実績 最終目標値に対する達成率	346,227	373,296	427,040	430,321	成果 評価対象外			
幼稚園支援事業 (子支)	私立幼稚園の定員に対する園児の就園率 R元実績 38.6 % 最終目標値に対する達成率 48.2%	53,736	31,180	37,767	61,944	成果 B:現状維持		幼児教育・保育の無償化については、大きな混乱なく移行が行えた。	
子育て支援事業 (子支)	子育て応援券利用率(当該年度期限分利用率) R元実績 56.52 % 最終目標値に対する達成率 -	27,769	31,867	29,516	33,021	成果 B:現状維持	子育てしやすい環境を整える。		
保育所入所措置・賦課徴収事務 (保こ)	保育所入所人数 R元実績 2,120 人 最終目標値に対する達成率 -	2,303	2,129	7,669	242	成果 A:向上を図る		幼児教育無償化については、大きな混乱なく移行が行えた	
認定こども園施設管理事業 (保こ)	施設の不具合による事故発生件数 R元実績 0 件 最終目標値に対する達成率 -	467,630	242,132	205,492	81,241	成果 A:向上を図る	認定こども園の耐震化工事が予定通り進んでいる。		
						資源配分 B:現状維持			

認定こども園運営事業 (保こ)	公立認定こども園延べ入園児童数（各月初めの児童数累計）			124,097	125,764	119,971	58,568	成果	B：現状維持	年度末に発生した新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に追われたものの、適切に対策を行っている。
	R元実績	4,659	人	415,440	462,029	455,090	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	93.1%								
留守家庭児童会運営事業 (保こ)	仲よしホーム受入人数			49,186	50,216	170,465	16,773	成果	B：現状維持	年度末に発生した新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に追われたものの、適切に対策を行っている。
	R元実績	728	人	172,399	148,871	153,044	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	保育所等の待機児童数については、年度当初は待機児童数ゼロを達成できている。しかし、年度途中から待機が生じている状況である。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
保育所等入所待機児童数0人を維持する。引き続き、施設の大規模改修に取組み、児童の教育・保育環境の改善・充実を図る。今後も、子育てしやすい環境作りに努める。